

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

むすこ

一ばんかわいい息子が、
どれいに



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Byron Unger; Lazarus; Alastair P.

かいさくしゃ

改作者: M. Kerr; Sarah S.

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children
www.M1914.org

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2021 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

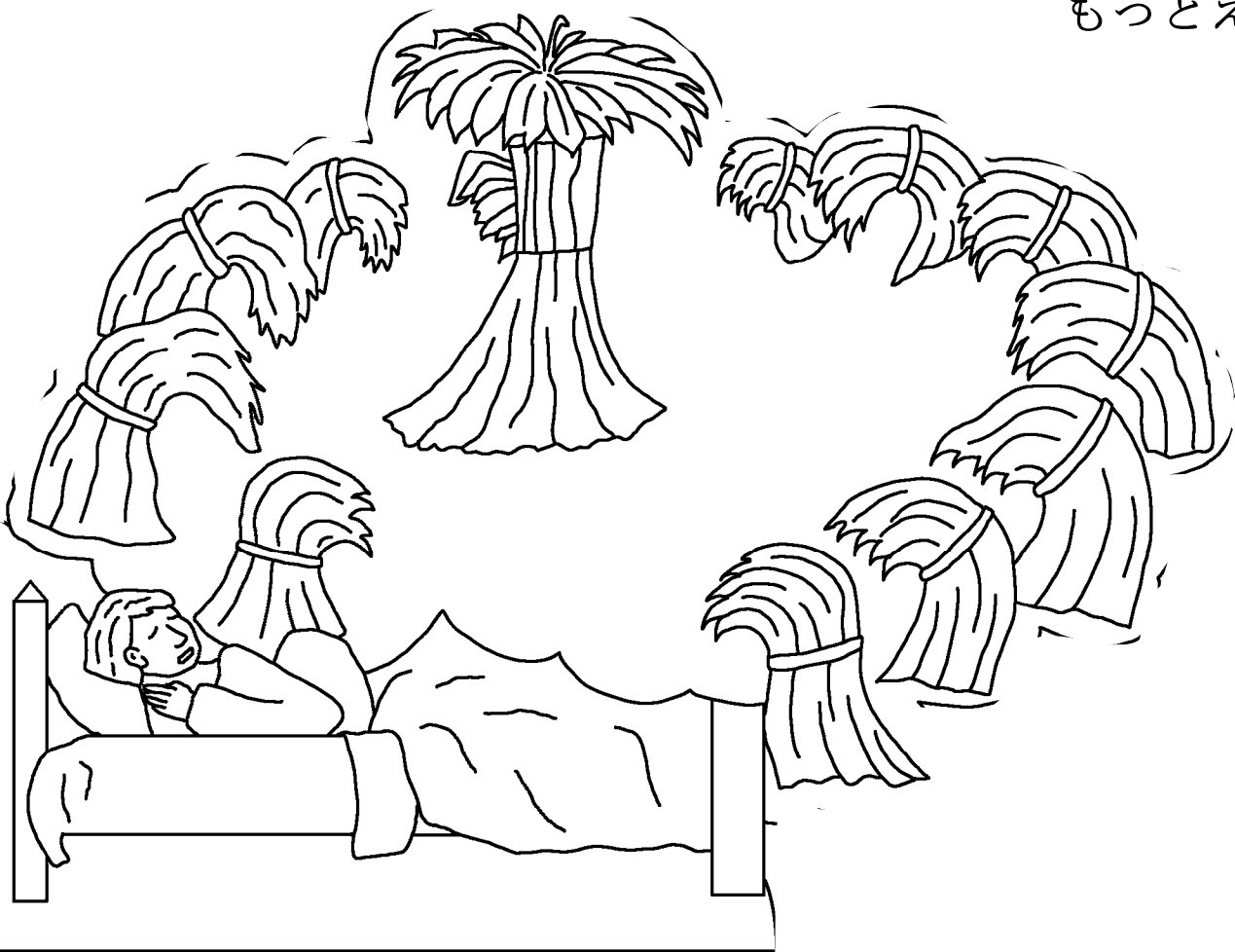


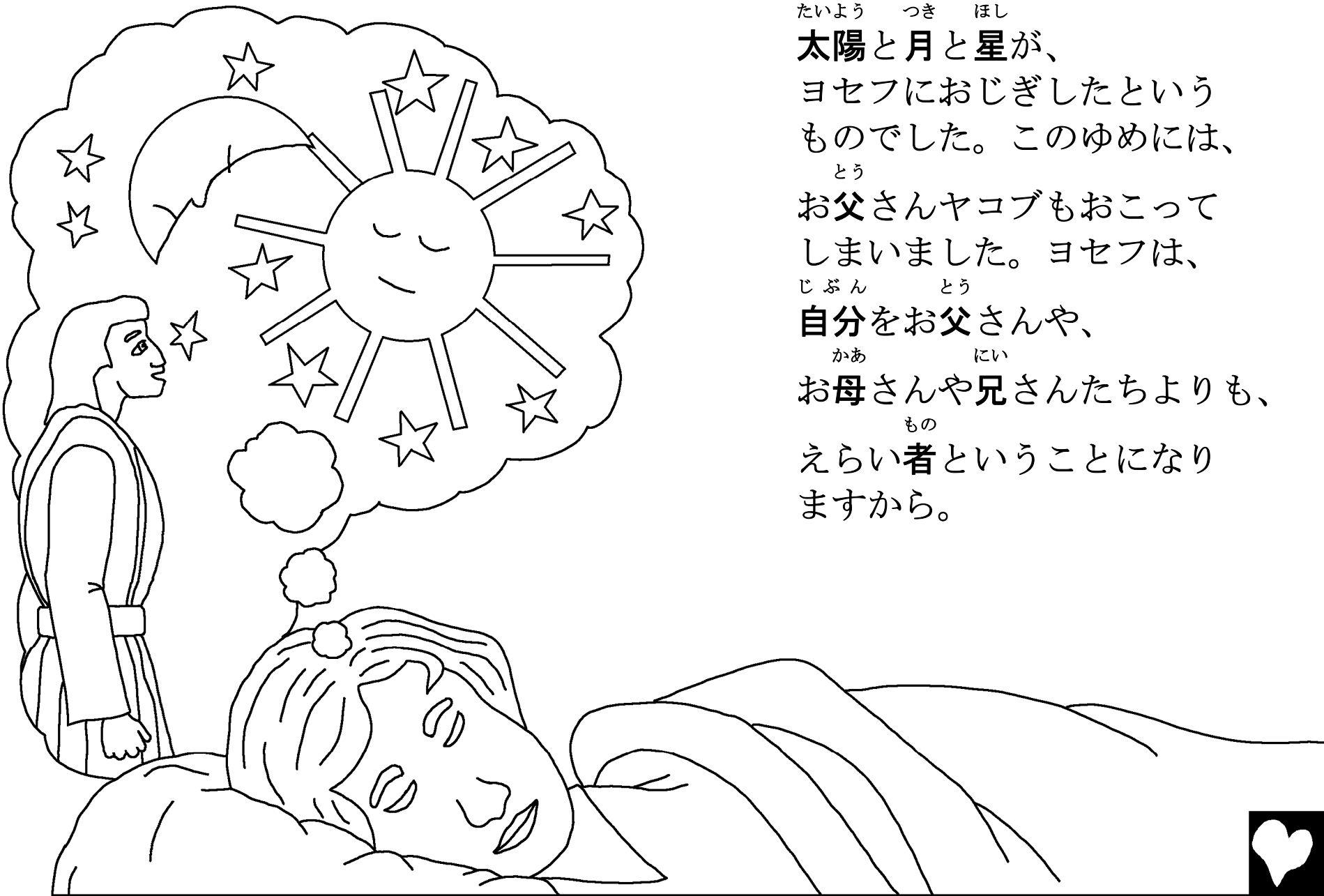
イサクは、ほんとうにしあわせでした。なぜって、^{むすこ}息子ヤコブが^{いえ}家にいるの
ですから。それに、いちどは、^{おとうと}弟ヤコブを^{ころ}殺そうとしたエサウでさえも、
^{おお}大よろこびでヤコブを^{むか}迎えてくれたんですからね。けれども、
^{むすこ}ヤコブの息子たちは、しあわせじゃなかったのです。
^{おとうと}それは、かれらの^{どう}弟ヨセフが、お父さんのいちば
^こんかawaii子だったからです。



ある^{とき}時ヨセフは、^{じぶん}自分の^{はなし}ゆめの話をしました。

それを^き聞いた^{にい}兄さんたちは、かんかんにおこりましたよ。そのゆめというのは、
こうでした。「^{わたし}私の^{たば}こくもつ^{たか}の^た束は、^{にい}高く^{たば}立ち、^{にい}兄さんたちの^{たば}束が、
おじぎをしたんだよ。」このゆめは、ヨセフが、^{にい}兄さんたちよりも、
もっとえらくなるということを、
^い言っていました。





に ど め

ヨセフの二度目のゆめは、

たいよう つき ほし

太陽と月と星が、

ヨセフにおじぎしたという
ものでした。このゆめには、

とう

お父さんヤコブもおこって
しまいました。ヨセフは、

じぶん とう

自分をお父さんや、

かあ にい

お母さんや兄さんたちよりも、

もの

えらい者ということになり
ますから。



ある日、ヤコブは、ヨセフをとおくにある**広い牧草地**へ行かせました。そこでは、**兄**さんたちが、ヒツジやヤギの**群れ**の**番**をしていました。兄さんたちは、ヨセフがこちらの**方**へやってくるのが**見**えましたよ。「おい、みんな**見**ろよ。ヨセフがこちらへ**向**かってくるじゃないか。あのゆめ**見**るやつを、やっつけてしまおう。」「そうだ、そうしよう！」ヨセフは、

あぶないことが**待**っているなんて、**思**いもしませんでした。



いち うえ にい ほんたい い
一ばん上の兄さん、ルベンは反対して言いました。「みんな、それはよくない
けっ ち み あな
よ。決して血をながしてはいけないよ。」そして、「そうだ、見ろよ。ここに穴
なか な い
がある。この中に、ヨセフを投げ入れてしまおうじゃないか。」と言いました。
よる たす だ おも
ルベンは、夜になったら、そっとわからないようにヨセフを助け出そうと思
いました。



いよいよ、ヨセフが、
やってきましたよ。

にい

兄さんたちは、

ヨセフにおそいかかり、

ふく

かれのきれいな服をはぎと
ってしまいました。それは、

ちち

むすこ

父ヤコブがかわいい息子ヨセ

つ

フのために、作ったとくべ

ふく

つの服でした。それから、

にい

兄さんたちは、

ヨセフをおそろしくふかい

あな

なか

な

穴の中に投げこんでし

まったのです。



あな

ルベンが、**穴**のところから、しばらくはなれていた

ときのことです。ラクダをつれたキャラバン**隊**が**通**

たいとお

りかかりました。かれらは、エジプトへ**行**くと

い

ひと

ちゆうです。「そうだ、ヨセフをあの**人**たち

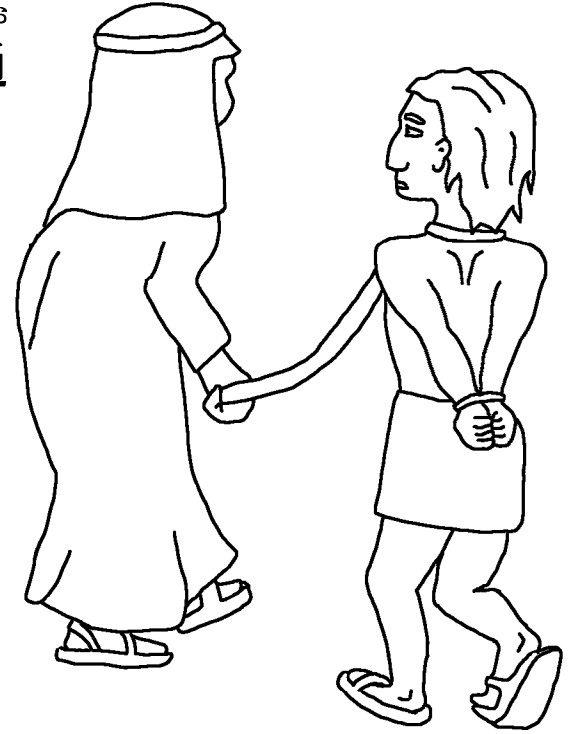
う

にい

ひとり

に**売**ってしまおう。」**兄**さんの一人、

ユダがさげびました。



そして、キャラバン**隊**の

たい

はなあ

人たちと**話**し合いました。

とうとうヨセフを、

ぎんか

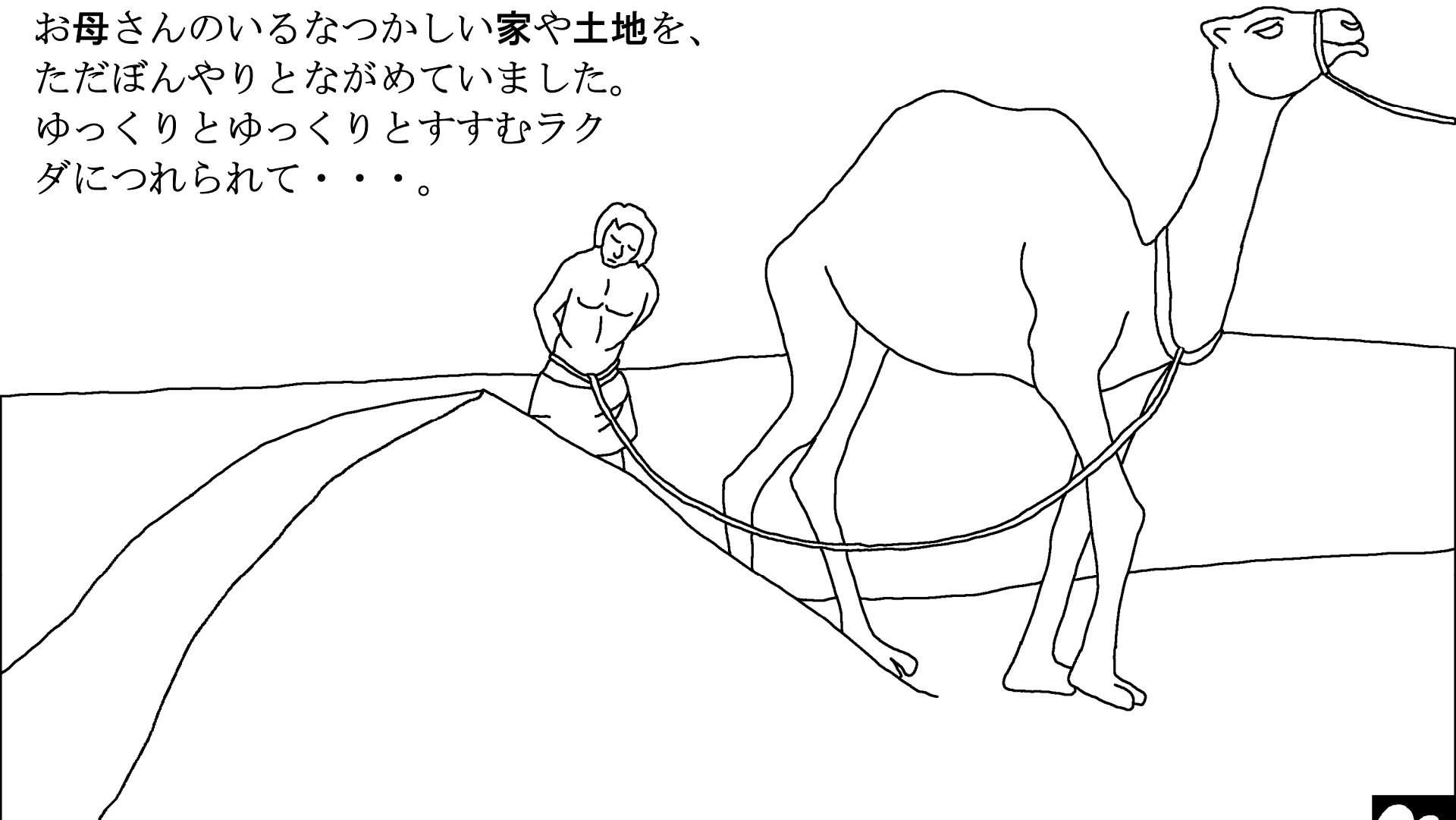
う

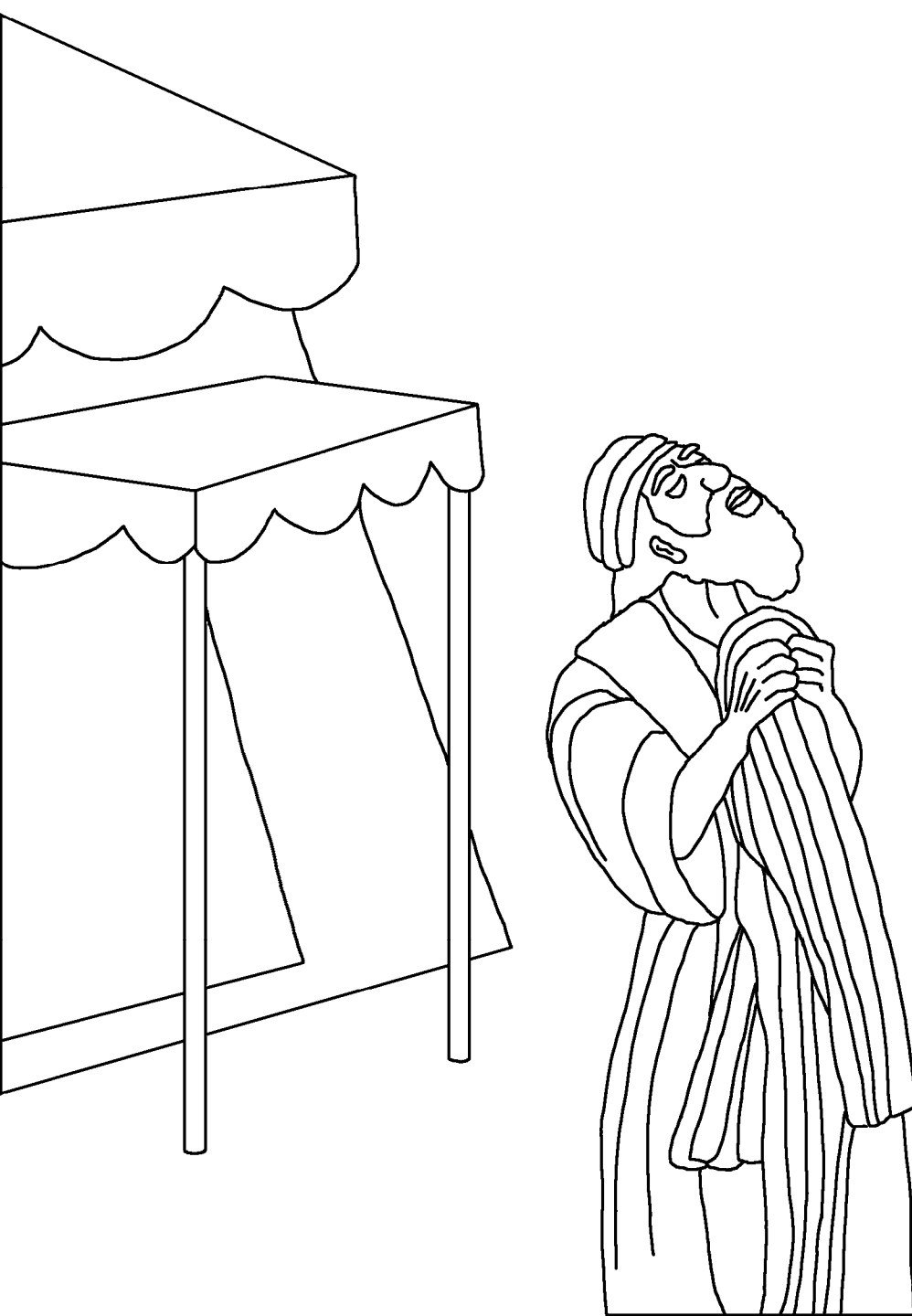
銀貨**20**まいで、**売**ってしまいました。



ヨセフは、おそろしくてもう目にはなみだがいっぱいです。

だんだん遠くはなれていくお父さん、
お母さんのいるなつかしい家や土地を、
ただぼんやりとながめていました。
ゆっくりとゆっくりとすすむラク
ダにつれられて・・・。





とう
「お父さん、これはヨセフの
うわぎ ち
上着でしょうか。血がついて
いるのですけれど……。私
うわぎ の
たちは、この上着をあら野で
にい
みつけたのです。」ひどい兄
とう
さんたちは、お父さんのヤコ
むすこ
ブに、かわいい息子ヨセフ
が、けものにころされてし
しん
まったと信じさせました。
ヤコブは、あまりのかなしさ
ふく な
で、服をひきさき泣きつづけ
ました。だれもヤコブを
なぐさめることは、
できませんでした。





ひとり
エジプトで、一人ぼっちにな
ってしまったヨセフは、
ふあん
きっと不安でおそろしかったに
ちがいありません。たぶんヨセフ
いえ
は、みんなのいる家に、もどりが
ったでしょう。でもかれは、
にげだすことができなかったの
く に やくにん
す。かれは、この国の役人で
じん
あったエジプト人ポティファルの
いえ
家でどれいとなり、はたらきまし
た。ポティファルは、ヨセフがい
つもいっしょうけんめいはたらい
み あんしん
ているのを見て、安心してなん
おも
でもまかせられると思いました。



「ヨセフ、おまえのすることは、
なんでもみんなうまくいくんだね。」

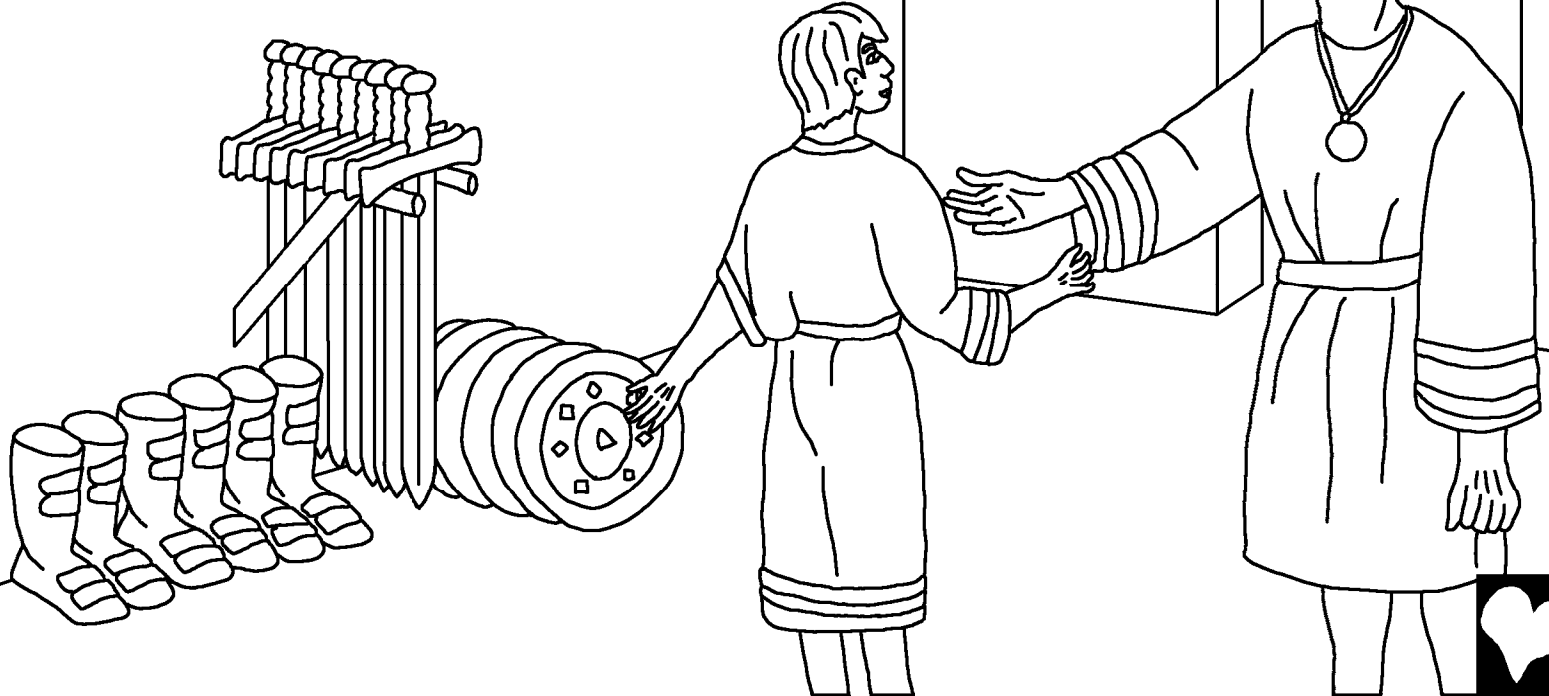
^ひ
ポティファルは、ある日、

^い ^{かみ}
ヨセフにこう言いました。「**神**さまが、
おまえについておられるようだ。さあ、

^{しょうにん} ^{いち}
これからは、おまえを**使用**人の一ばんえらい

^{もの} ^{わたし}
者としよう。**私**のしごとのすべてをまかせ、

^{しょうにん} ^{しゅじん}
ほかの**使用**人みんなの**主人**としよう。」



かみ

神さまは、ポティファノに、^{はたけ}畑でたくさんの^{さくもつ}作物ができるように、

そしてまた、たいへん^{ゆた}豊かにくらせるようにしてくださいました。

ヨセフのおかげですね。いまや、

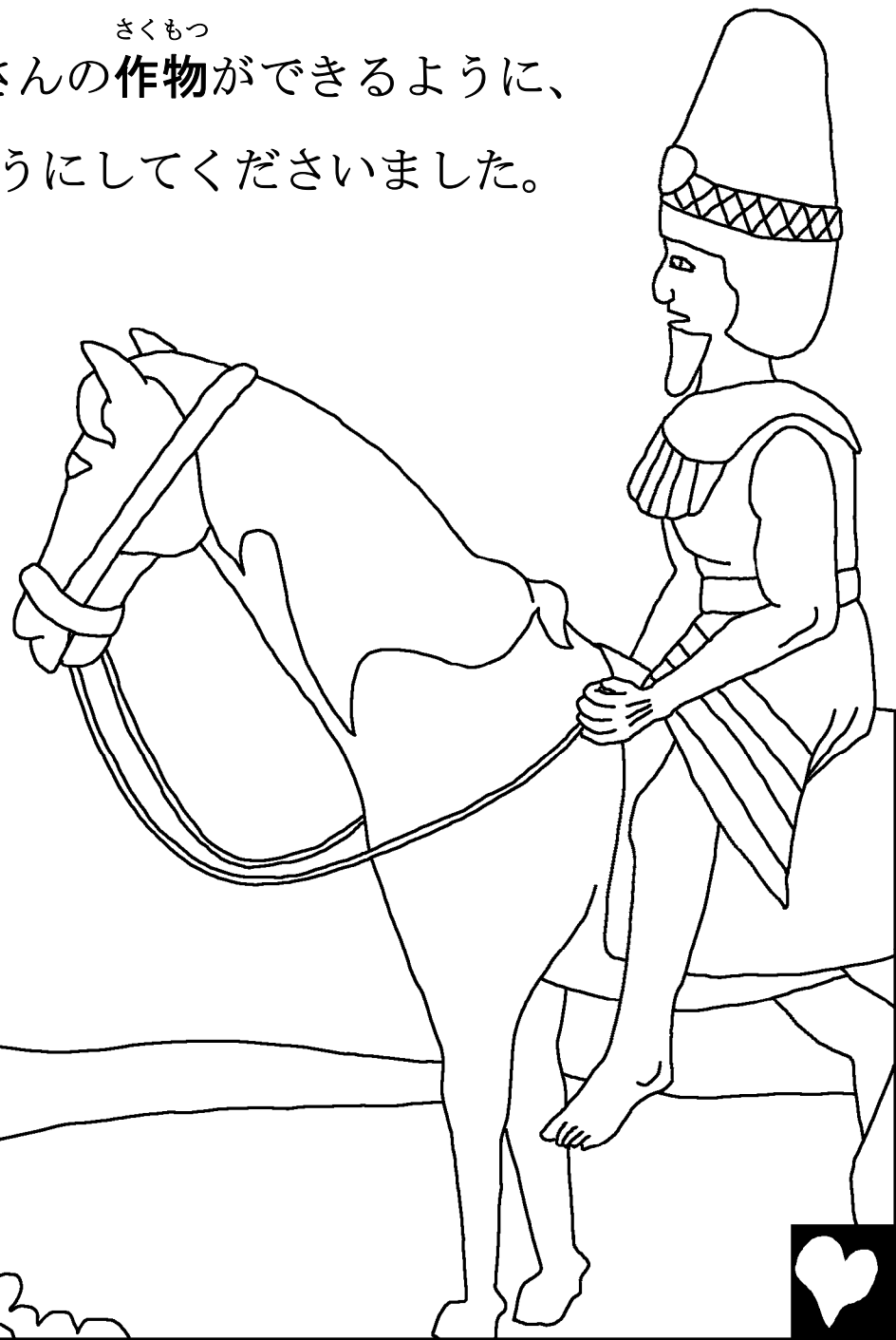
^{くに}この^{たいせつ}国でとても^{ひと}大切な人と

なったヨセフですけれど、

いつも^か変わらず^{かみ}神さまを^{しん}信じ、

^{つか}仕えていました。ところがね、

ヨセフに、たいへん^{こま}困ったことがおこりましたよ。



ひと

ポティファルのおくさんは、よい人ではありませんでした。かのじよは、

じぶん おっと

ヨセフに**自分の夫**ポティファルのかわりをするように**言**いました。もちろん、

ヨセフはことわりました。ヨセフは、

ポティファルによくないことをして、

かみ

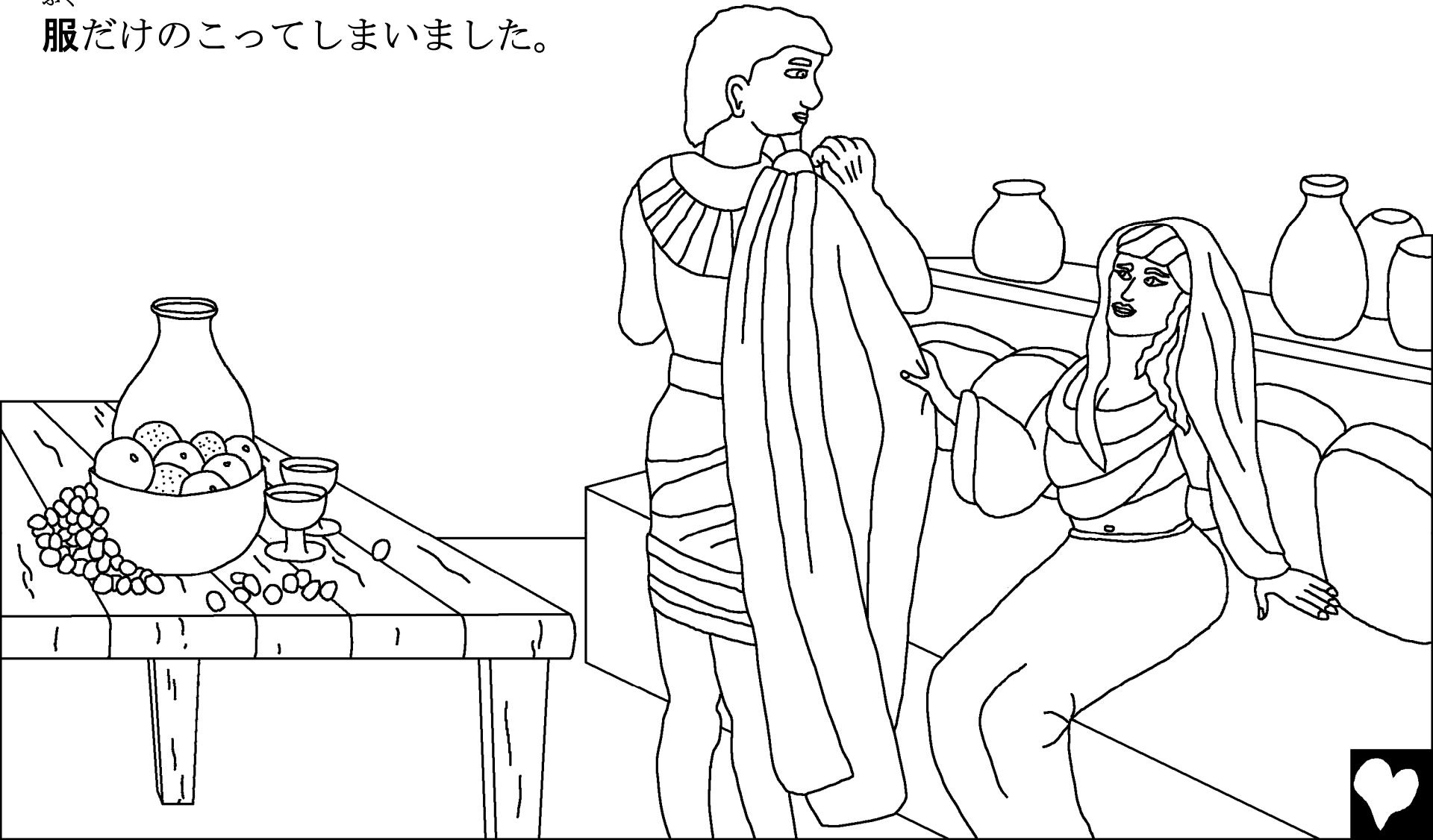
つみ

神さまに**罪**をおかすつもり

はありませんでした。



あるとき、おくさんはヨセフにむりやり^い言^いいよってきました。かれは、
^{そと}外へうまくにげましたよ。ところが、おくさんは、ヨセフの^{ふく}服を、
しっかりつかんでいたので、
^{ふく}服だけのこってしまいました。



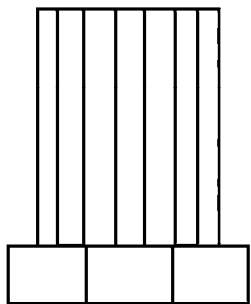
わたし

「あなたのどれいは、**私**にいたずらしようとしたのです。」ポティファルのおくさんは、このようにヨセフのことをいいました。「さあ、**見**てくださいよ。ここにヨセフの**服**があるから。」それを**見**て、ポティファルは、たいそうおこりました。

でも、もしかしたらかれは、**自分**のおくさんが、うそをついているって**知**っていたか
もしれませんね。けれども、
とにかくポティファルは、
なにかしなければなりません
でした。いったいか
れは、どうするつもり
なのでしょうね。



ポティファルは、ヨセフをろうやに^{ほう}放りこんだのでした。



ヨセフは、なんの^{つみ}罪もなかったのにどうして？ でもかれは、そのことで、つらく^{おも}思ったりおこったりはしませんでした。

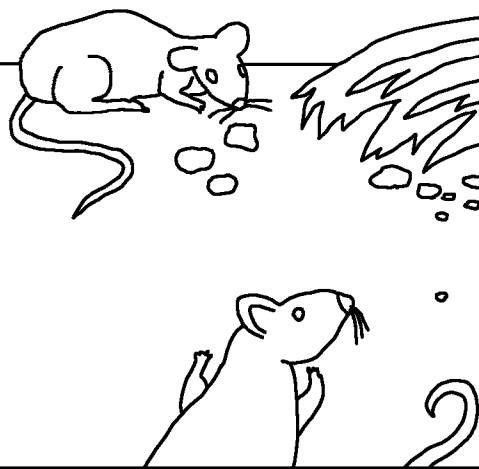
たぶんヨセフは、今までの^{くる}苦しかったできごとから、

いろいろ^{まな}学んできたからなのでしょうね。つまり

ね、たとえどこにいたとしても、いつも^{かみ}神さまを

^{だいいち}第一にしていれば、^{かみ}神さまは、かならずまもってく

ださるだろうって。たとえ、ろうやの^{なか}中でもね。



むすこ
一ばんかわいい息子が、どれいに

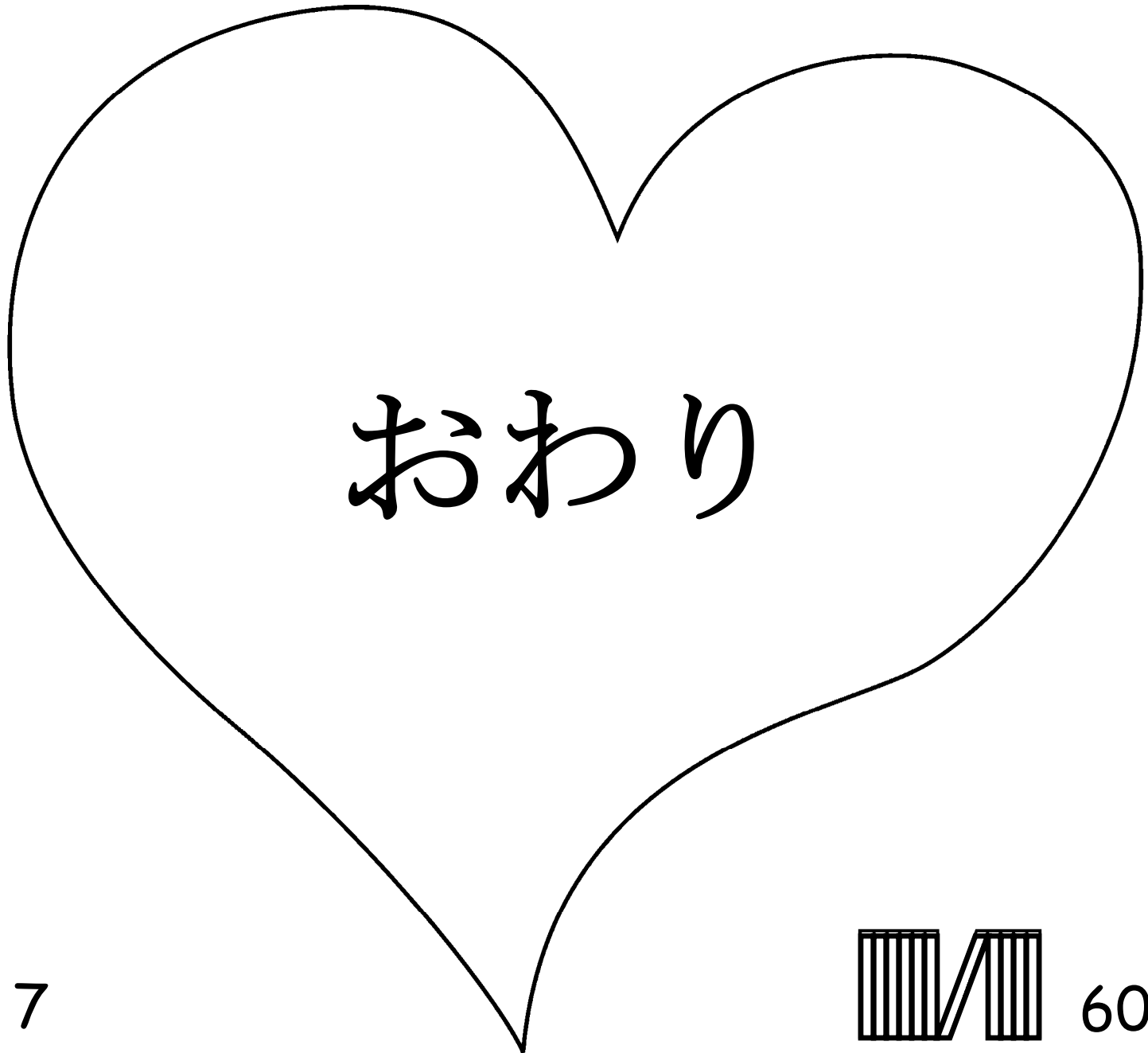
かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 37 章—39 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130

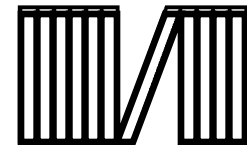




おわり



7



60



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださった素晴らしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っています。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひどり こ
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなって
くださいました。そして、よみがえって、いま生きて
わたし なか き つみ わたし いま
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたら
しい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょに
い
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たすけて
ください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

